

## 第 2 次江田島市総合計画の概要等について

## 1 策定手順等

- 江田島市は、平成 26 年度に、市の最上位計画である第 2 次総合計画 (H27～H36 年度：10 年間) を策定した。
- 策定に当たっては、ワークショップや審議会の開催などにより、市民や有識者の意見を盛り込みながら作成した。

## (1) 策定体制

- 第 2 次総合計画においては、外部有識者による審議会及び庁内に検討本部を設置し、内容を検討した。

## 【第 2 次江田島市総合計画審議会（外部有識者会議）】

所 属	団体名
関係団体の役職員	江田島市自治会連合会
	江田島市女性会連合会
	江田島市老人クラブ連合会
	江田島市 P T A 連合会
	安芸地区医師会江田島ブロック
	江田島市社会福祉協議会
	江田島市農業委員会
	江田島市漁業振興協議会
	江田島市商工会
	江田島市観光協会
学識経験者	県立広島大学 ※会長
	広島大学
関係行政機関の職員	広島県庁 (過疎地域振興課 (H25), 広島県地域力創造課 (H26))
	江田島市教育委員会 ※副会長

※関係団体からの意見などは、審議会での議論を通じて総合計画に反映

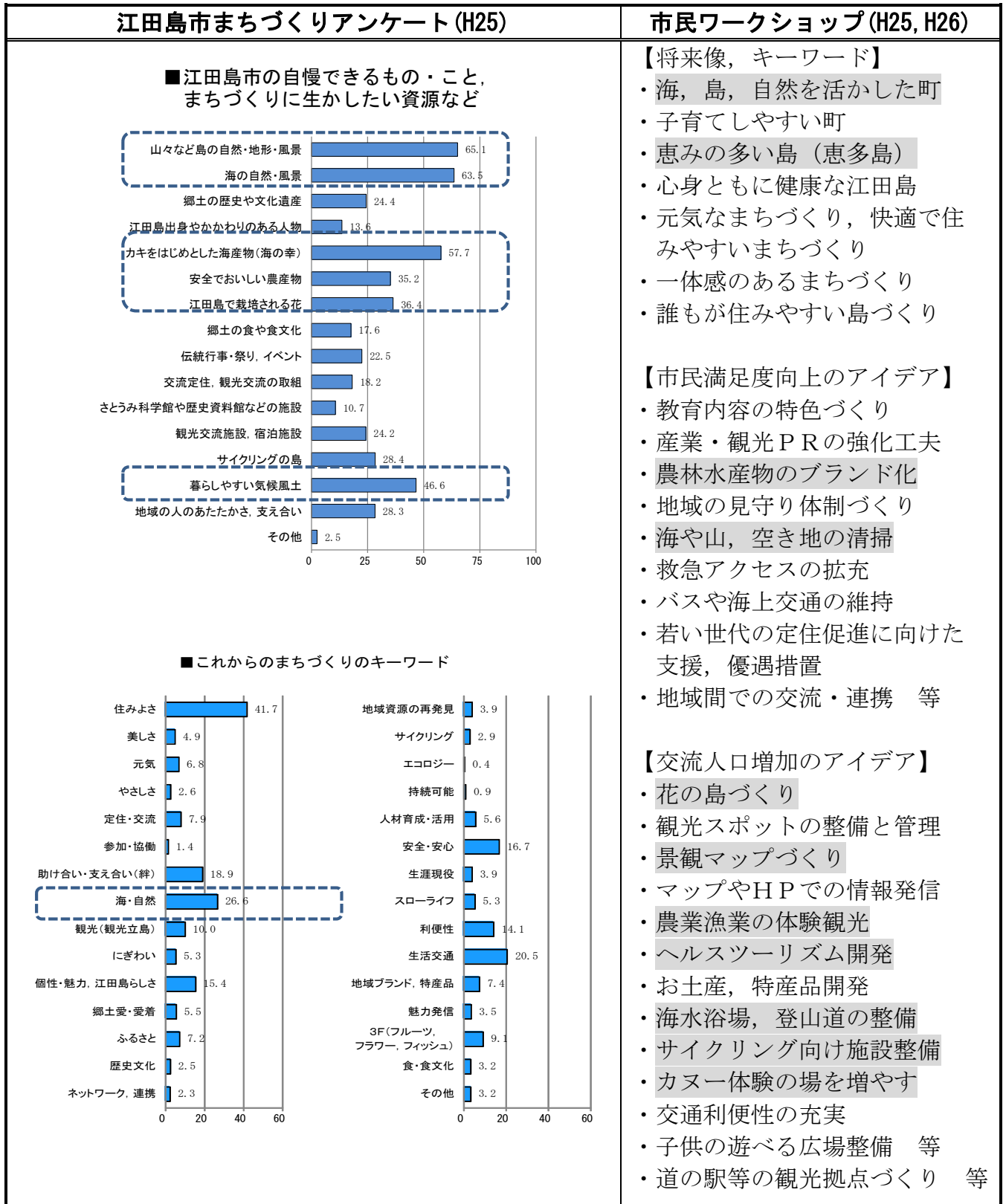
## 【第 2 次江田島市総合計画策定本部（市役所の内部組織）】

本部長	副市長
副本部長	企画部長
委 員	総務部長, 危機管理監, 市民生活部長, 福祉保健部長, 産業部長, 土木建築部長, 企業局長, 消防長, 教育次長, 総務課長, 財政課長

## (2) 市民意見の反映

○第2次総合計画においては、市民の意見を反映すべく、市民アンケートやワークショップなどを実施した。

※市民からは、市の自然環境や特産品等を強みとして捉え、それを活かした施策の推進についての意見が多く挙げられた。



## 2 第2次江田島市総合計画の概要

○これらの市民や団体の意見を踏まえ、2つの戦略を推進することで将来像の実現を図る、第2次総合計画を策定したところ。(詳細別紙)

項目	内容
将来像 (10年後の目指す姿)	協働と交流で創り出す 『恵み多き島』 えたじま
目標人口 (~H36年度)	23,000人 (H27.6 : 25,229人)
戦略①	市民満足度の高いまちづくり ~市民が必要とし、求めているサービスを提供する [数値目標] 市民満足度ポイント 70点以上 (H25:54点) [取組内容] ①教育・文化②産業・観光③福祉・保健④生活・環境 ⑤安全・安心⑥基盤⑦地域 の7分野において取組を推進
戦略②	未来を切り開くまちづくり ~新たな人の流れや経済活動を創り出す [数値目標] 総観光客数 100万人 (H24:54万人) [取組内容] ①絵になる島 (瀬戸内海で最も美しい景観の島の実現) ②楽しめる島 (海や島の自然を生かした観光・交流人口の拡大) ③自慢できる島 (地域ブランドと人材育成による新たな魅力づくり) ④また来たい島 (リピーター獲得に向けた環境整備)

★第2次江田島市総合計画(10年間の計画)における将来像や戦略などの考え方は、これから策定する地方版総合戦略(5年間の計画)と密接に関係を有すべきもの。